

新しい経営状況分析にどう対応するのか

改正後の新しい経営状況分析の指標では、現行の指標はほとんど採用されていません。新しい経営状況分析に経営者としてどのように対応したらいいのでしょうか。そのためには内容を理解して、自社の経営体質を変革していかなければなりません。

国は、建設市場がかつてみられない大きな構造変化に直面している中で、「技術と経営に優れた企業が伸びられる透明で競争性の高い市場環境の整備」を進めるとしております。しかし、経審を受ける側からすれば、いよいよ、「つぶれない会社を選別して発注するという姿勢をはっきりと打ち出したな」という感じです。国にすれば、つぶれる会社に工事を発注して税金を無駄にはできないのです。国が意図する健全な会社とはどのようなものなのでしょうか。このことを第一に考えることが、経審対策の第一歩になるのです。

< 他人のふんどしで相撲をとろう >

今回は、大きく変わった「流動性」からみていきましょう。まずは、必要運転資金月商倍率(X4)です。

必要運転資金月商倍率(X4) : (受取手形 + 完成工事未収入金 + 売掛金 + 未成工事支出金 - 支払手形 - 工事未払金 - 買掛金 - 未成工事受入金) / (売上高 ÷ 12)

新しい指標は、建設需要の落ち込みのなかで、債務保証や不良債権を抱えた建設会社が、倒産や会社更生法の適用といった事態に直面していることを念頭においてつくられています。

必要運転資金月商倍率(X4)

資金の運用		資金の源泉	
売上債権	受取手形	支払債務	支払手形
	完成工事未収入金		工事未払金
	売掛金		買掛金
	未成工事支出金		未成工事受入金
			必要運転資金

この指標は必要運転資金を算出するものです。建設会社は、工事に着手し、まず仕掛工事にかかる費用を負担します。そして工事が完了すると、発注者に請負代金を請求し、回収することになります。代金を現金で回収するには長い期間が必要ですので、その間の支払のために資金が必要です。この資金が少なれば資金繰りも楽なので、企業倒産の危険性も少ないと言えます。そこで、必要運転資金が少ない会社ほど点数が良くなります。

運転資金を少なくするという事は、なるべく自分のお金は使わないで、利息のつかない他人のお金で運営しなさいということです。つまり、他人のふんどしで相撲をとるということです。具体的には、まず、発注者より工事前受金を多くもらうことです。次に、支払はなるべく先に延ばせば運転資金が少なくて済みます。一方、完成工事未収入金は早く回収しなければなりません。そうすれば安全というわけです。

実際問題として、この指標が同じ点数でも支払能力に大きな差がある場合があります。数値がよいからといって必ずしも安全というわけではありません。

A社		B社	
現金預金	10,000	現金預金	500
受取手形		受取手形	
完成工事未収入金	1,000	完成工事未収入金	1,000
売掛金		売掛金	
未成工事支出金	10,000	未成工事支出金	10,000
支払手形	500	支払手形	500
工事未払金	600	工事未払金	600
買掛金		買掛金	
未成工事受入金	5,000	未成工事受入金	5,000
必要運転資金	4,900	必要運転資金	4,900

A社は、現金預金が10,000あっても経審対策のため支払を延ばしています。しかし、B社は現金預金が500と少なく、資金繰りが厳しいため支払を待ってもらっています。しかし、売上高が同じA社とB社は必要運転資金月商倍率(X4)が同じです。

このように、流動性の指標から現金預金が抜けた影響は大変大きいと言えます。資金繰りに苦しい企業は、債権回収に熱心で、かつ、支払の引き延ばしにも努力していますので、不良債権がなければ、知らずのうちにこの指標がよくなるのです。問題は、資金に比較的余裕のある会社です。漫然としていると、資金繰りの苦しい会社より流動性の比率が悪くなります。是非ともご用心を。もっとも、いつも支払いを延ばしていたのは会社の信用にかかわります。決算期末だけ支払いを延ばす努力をすればよい決算ができるはず。意味のない支払いの引きのばしは企業の信用にかかわります。経審の点数への影響を調べるためにもぜひ経審対策ソフト「Wisdom99」をご利用下さい。

(つづく) WISENET編集部 松村 清(税理士)

Wisdom99 経審点数計算システム (99年改正新計算式対応版) 発送開始! (パソコン用経審対策ソフト Windows95/98/NT 対応)

まずは試供版をお届けします。正式版は新経審の書式が揃い次第(一部未確定の部分があります)お届けします。お問い合わせは必要事項を記入の上、FAXにてご返送下さい。

*注文用紙は資料送付時に同封します。(すでにご注文をいただいているユーザー様にもこのFAXは届いております)

資料請求は右欄にチェックして下さい (資料は「Wisdom98」の資料とご注文用紙となります)	資料請求
--	------

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名	
ご担当者様	ご役職・部署名
ご住所(商品送付先) 〒	
TEL	FAX
e-mail	決算月

資料請求・ご注文は上欄に必要事項を記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。 FAX.0269-65-4745